

## 平山小学校「生きぬく科」

スカイプ



## を活用して「避難所生活」についての学習



熊本の小学校と  
つなぎました!



とは・・・

パソコンやスマートフォン等から  
インターネット回線を通じて  
テレビ電話ができるソフトです。

日野市内の全学校で利用できます!

10月18日、平山小学校の4年生が「生きぬく科」の授業でスカイプを活用し、熊本市立田迎西小学校の小松丸先生から熊本地震のときの「避難所生活」についていろいろお話を伺いました。

この学習に先立ち、4年生は「避難所生活」についての調べ学習をしており、10月11日には日野市防災安全課の方に来ていただき、日野市の避難所の仕組みについてお話を伺っていました。平山小学校が避難所になったら…と様々なことを想定し、疑問に思ったことをたくさん質問しました。



また「防災移動教室」で防災体験学習施設「そなエリア東京」へ行き、首都直下地震が起きたことを想定して、地震発生後の3日間(72時間)をどう生き延びるかを考えるなどの体験をしました。

そして今回、以前から交流がある熊本市立田迎西小学校の小松丸先生から、実際に避難所生活を体験されたときの具体的な様子をお伺いしました。



左側のモニターでは、小松丸先生の回答を先生が紙に書きとり、「みエルモン」で映して児童に見せています。



スクリーンに映る小松丸先生へ避難所生活についての質問をする児童。先生から「他にも質問したい人!」と言われて、前に列ができました。



小松丸先生のお話を一生懸命に書きとります。

熊本地震で実際に避難所生活をされた方から直接お話が聞けるという体験は、スカイプを活用した学習ならではのものです。テレビのような一方的な情報や手紙のやりとりなどでは得られない、双方向性と臨場感がありました。

平山小の児童の質問は、日頃から災害のことや避難所についてさまざまな角度から学び、考えているからこそ出てくるものばかりでした。児童にしっかりした下地があることで、今回のスカイプ交流は一層効果的だったと思いました。

どんなときにも生きぬく  
平山っ子!

あきみかん  
あわてない あきらめない  
よくきく よくみる  
かんがえてこうどうする

